

## 議事録 東海村男女共同参画推進委員会（令和2年度第1回）

### 1 日時

令和2年7月21日（火） 18:30～19:45

### 2 場所

東海村役場 行政棟3階 庁議室

### 3 出席者

#### (1) 東海村男女共同参画推進委員会委員

	氏名	出欠		氏名	出欠
1	鎌田 まり	○	6	高橋 琢	○
2	戸部 万亀子	○	7	田川 大輔	×
3	渡部 晃子	○	8	橋本 年雄	○
4	北野 千恵子	○	9	俵田 憲諭	×
5	佐藤 高雅	○	10	茂木 智子	○

#### (2) 事務局（東海村企画総務部秘書広報課）

企画総務部 部長 富田 浩文  
 秘書広報課 課長 高橋 毅  
 課長補佐 安 美穂  
 主任 川崎 彰利

### 4 議事

#### (1) 「第4次東海村男女共同参画行動計画」の令和元年度実績報告について

##### ① 内容

資料1に基づき事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換等協議する。

##### ② 主な意見

- 村職員の男性における育児休業取得率が0%というのは大きな課題だと感じる。まずは役場に挑戦してもらい、モデルケースとしてPR・意識啓発していかないと、村内事業所の取り組みは進まないのではないか。
- 今後テレワーク等が浸透し、柔軟な働き方を通してワーク・ライフ・バランスの確保に対する意識が高まれば、育児休業取得率の向上にも繋がると思われる。
- 今後テレワーク等が浸透すれば、男性の家事・育児参加にも繋がると思われるので、テレワーク等柔軟な働き方を推進する機運が高まることを望む。

## (2) 令和2年度男女共同参画推進事業について

### ① 内容

資料2に基づき事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換等協議する。

### ② 主な意見

- 課題となっている男女共同参画推進事業所認定基準の見直しについては、検討していただきたい。認定を受けたことが事業所にとって「価値」と考えていただけるような認定事業となってほしい。
- 事業所認定後のアフターフォローが十分ではないので、ヒアリング等事業所の声を聞く取り組みが必要だと思う。
- 認定事業所へのフォローとして、村から事業所への取組状況の調査など、認定事業所へのコンタクトが必要だと思われる。
- 認定事業所に対する「調査」だけでなく、村として認定事業所を広く住民にPRする取り組みを継続して取り組んでいただきたい。
- 昨年度、村が実施した認定事業所を村公式HPにてPRする取り組みについて、記事作成等の作業が推進事業所で対応できていない部分があった。

## (3) 「第5次東海村男女共同参画行動計画」の策定について

### ① 内容

資料3-1から3-5に基づき、事務局から説明を行い、質疑応答・意見交換等協議する。

### ② 主な意見

#### 資料3-1

- 第4次計画の指標項目となっている「役場の男性職員の育児休業取得率」について、指標の対象は取得した「人数」なのか、取得した「期間」なのか等、指標の対象や積算根拠を明確にしておいたほうがよい。
- 村民の就業者数や就業率等の就業状況データが計画に掲載されていれば、指標項目の達成度を評価する目安になるのではないか。
- 第4次計画において、達成できた指標項目が1項目に留まっている状況を踏まえ、第5次計画における指標項目の目標レベルについては検討が必要だと思われる。
- 「役場の男性職員の育児休暇取得率」が0%なのは情けない。目標値を50%程度に設定してもよいくらいである。一般企業では難しいという意見もあるが、役場がお手本になっていただきたい。

#### 資料3-2

- 男女共同参画・女性活躍推進に向けては、村民・村内事業者・教育関係者に対する意識改革が重要になるため、村民を始めとした多くの関係者を巻き込んで第5次計画を策定できるとよい。村や委員会が一方向的に策定したものを守らせるという形は避けたい。

- 計画の位置付けの図の中に、昨年度実施した男女共同参画住民意識調査も加え、計画策定の中で住民の意見を反映している根拠として掲載したほうがよい。
- 今回、第5次計画は5年間の計画となるが、5年より先の将来像的な目標を想定し、そこに向かう中での直近5年間の計画として目標・方針等を決定できるとよい。

**資料 3-3**

- パブリックコメントでは、多くの住民からの意見をもらえるように積極的に工夫する必要がある。
- 今後の課題として、昨年度実施した男女共同参画住民意識調査の調査票を発送する際、「住民意識調査の結果を踏まえて策定した計画について、パブリックコメントを実施するので、御意見いただきたい」旨の案内があると、アンケートに回答していただいた方にはパブリックコメントでも御意見をもらえる可能性が上がるのではないかと。

**資料 3-4**

- 項目タイトルの中で「評価」と「成果」という言葉が混在しているので、使い分け等整理し、統一的な記載とした方がよい。

**資料 3-5**

- 基本目標の文末が「環境づくり」で統一されているが、「村は環境が作ることが仕事で、その後は住民の仕事」というような「突き放す」ニュアンスが感じられる。
- 村と村民等の関係者が連携して計画を推進していくようなイメージが伝わる記載となるとよい。

## **5 次回開催予定**

時期：令和2年9月

議事：第5次東海村男女共同参画行動計画（素案）について 他